

特集 建設分野の魅力 第37回



取材協力＝兵庫県建設業育成
魅力アップ協議会



架け替え工事の進む矢田橋。香住中心部と茶部方面をつなぐ矢田橋の架け替え工事が進んでいる。河口側に建設中の新しい橋の完成後、築70年近くが経過した今の橋を撤去する計画だ。2023年度に開通予定の新しい橋は車道部の幅が今より3m広くなり、耐震性も向上する。工事を発注した兵庫県と受注側の施工業者に、事業内容や建設業の魅力を尋ねた。

兵庫県香美町を流れる矢田川の河口付近で、香住中心部と茶部方面をつなぐ矢田橋の架け替え工事が進んでいる。

矢田橋架け替え工事

(香美町、県道香住村岡線)

豊かな生活の架け橋に

兵庫県但馬県民局
新温泉土木事務所
道路第1課

藤田 大樹さん



緩いS字形で難易度高く

困難の多い架け替え工事だった。橋は川と直角に架けた方が造りやすいが、新しい矢田橋は道路との接続などから緩やかなS字形とし、難易度が高かった。県道香住村岡線は地域をつなぐ重要路線。周辺は民宿や旅館も多く、大型車両が絶えず通るため、通行止めにするのがないよう、調整しながら工事を進めた。

川の中の工事は梅雨や台風の時を避けなくてはならず、雪のシーズンと重なったため、なかなか施工期間が取れない面もある。ただ、老朽化した橋の架け替えは地域交通の維持という観点からも重要。新矢田橋は車道の幅が広くなり、車も通行しやすくなる。

株本建設工業
株式会社

中島 耕作さん



土運搬ルート地域に配慮

西側の橋脚2基を担当した。川の中に作業場を造成するため、最初に10トンプラットで2千台以上の土を運搬したが、地域に迷惑をかけないよう、町中を通らないルートを設定し、タイヤの泥を落とす自動散水システムを設置するなど、細心の注意を払った。先輩社員がサポートに来てくれるなど、会社のバックアップにも感謝している。

現場管理は大変な仕事だが、ものを造り上げた時の感動はひとしお。地域住民のよりよい生活に貢献できるのも魅力だ。最近汗通体2日制やICT化も浸透し、働きやすい環境が整ってきている。若い世代はぜひ飛び込んでほしい。

株式会社中村建設

中村 健太さん



品質を確保し工期を守る

現場代理人は現場管理全般を担うほか、品質を確保し、工期を守るのが仕事。イレギュラーなことも出てくるが、汗をかいた分は結果返ってくる。自分の造った構造物が次の世代まで残っていくのは大きな魅力だ。今回の工事では、東側の橋台を担当した。生活に欠かせない橋が新しく生まれ変わり、地元も喜んでくれると思う。

近年は、情報通信技術（ICT）を建設現場に導入する「AI・コンストラクション」の取り組みが進み、機械に任せる仕事も増えてきた。「危険な仕事」という過去のイメージを払拭し、若い世代に建設業界の魅力伝えていきたい。

地元貢献大きな達成感

現場代理人として橋中央部の橋脚2本の施工を担当した。現場代理人は下請け業者の工程を管理し、工期内に所定の品質で構造物を完成させ、発注者に引き渡す仕事。今回の現場は地盤が固く、掘削が思うようにいかなかったが、大変な仕事ほど達成感も大きい。

豊岡市城崎町の出身で、地元の但馬で働きたいと思っていたし、学生時代に造園業のアルバイトで、体を動かしてものづくりに関わる仕事にやりがいを感じ、建設業を選んだ。不完全なものを引き渡さないのが大きな責任を伴うが、道路や橋などを造る仕事を通して、地域の役に立っていると感じている。

但南建設株式会社

城嶽 太郎さん



住民理解得て工事円滑に

西側の橋台と橋桁の伸縮継ぎ手装置の工事を担当している。橋台工事は振動・騒音が発生する大規模な架け替え工事が必要となり、近くで生活する地元住民の理解なくしては工事を円滑に進めることが難しかったため、個別に説明を重ねて理解を頂き、時にはねぎらいの言葉を頂き工事を進めることができて感謝している。

公共事業は公「みな」が共に豊かに幸せになるための事業です。この事業が、社会や地域の人々の幸せと豊かな生活の架け橋となればと思う。また、地域の若者にはこの事業をきっかけに「新3Kの建設業」に興味を持ってもらえたらうれしく思う。

合資会社中村組

松井 崇さん



高い技術力で防災も考慮

上部工の工事を担当した。主桁1本当たりの重量は140〜160ト。工場で分割して製作・搬入し、現場で1本の桁にして所定の位置に架設する。その作業を主桁36本分行った。

通常は河川に対して最短距離で架橋するが、新しい矢田橋は河川に対し斜め方向で、道路中心線がS字を描く構造。照査と施工で高い技術力を求められ、冬場の気象条件も重なって難しい工事だった。

新しい橋は阪神・淡路大震災級の地震に対応できる耐震性を確保し、地域の防災計画なども考慮した構造。自分たちの造ったものが地図に残っていくのが、この仕事の魅力だ。

株式会社富士ピー
・エス、
極東興和株式会社
JV

千頭 治幸さん



橋台や橋脚の下部工の工事は21年6月に完了し、上部工も詰めの段階。新矢田橋は橋長222m、有効幅員は車道部8.5m、歩道2.5mになる。現矢田橋は橋長156m、有効幅員は車道部が5.5m、歩道橋が2m。

矢田橋架け替え工事 矢田川の河口付近に架かる矢田橋は車道橋が1953年、歩道橋が75年の供用開始で老朽化が進み、県の点検・診断結果で「早期に措置を講ずべき状態」だった。架け替え工事は2018年9月着工。

PR